

会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度第2回弘前市子ども・子育て会議
開 催 年 月 日	令和元年11月12日(火)
開 始 ・ 終 了 時 刻	13時30分 から 14時45分まで
開 催 場 所	市役所 市民防災館3階 防災会議室
議 長 等 の 氏 名	佐藤 三三
出 席 者	<ul style="list-style-type: none"> ・佐藤 三三 会長 ・鈴木 鉦一朗 委員 ・笹森 麻野 委員 ・相馬 玲子 委員 ・對馬 大輔 委員 ・鳴海 誠 委員 ・藤田 俊彦 委員 ・井澤 優子 委員 ・鈴木 一哉 委員 ・古山 剛弘 委員 ・葛西 美樹 委員 ・外川 吉彦 委員
欠 席 者	なし
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	<ul style="list-style-type: none"> ・こども家庭課長 佐々木 隆史 ・こども家庭課長補佐 川田 哲也 ・こども家庭課長補佐 間山 博樹 ・子育て相談係総括主幹 石澤 容子 ・健全育成係長 吉村 友香 ・家庭給付係長 高木 一誠 ・保育係長 佐藤 洋佑 ・障がい福祉課主幹 佐藤 龍太 外
会 議 の 議 題	<p>(1) 第2期弘前市子ども・子育て支援事業計画(案)について</p> <p>(2) 前回会議の報告事項について</p> <p>(3) その他</p>
会 議 結 果	事務局案で委員の了承を得る。
会 議 資 料 の 名 称	<p>資料1 第2期弘前市子ども・子育て支援事業計画(案)</p> <p>資料2 放課後等デイサービス充足状況について</p> <p>追加資料1 平成28年度～平成31年度(9月末現在)さんかくネット利用集計</p>

<p>会議内容</p> <p>(発言者、 発言内容、 審議経過、 結論等)</p>	<p>1. 開会 2. 案件 3. その他 4. 閉会</p> <p>≪ 1. 開会 ≫</p> <p>【司会】 「令和元年度第2回弘前市子ども・子育て会議」を開会いたします。 本日まで出席の委員は12名で、欠席は3名となっており、委員の半数以上が出席されておりますので、会議成立とさせていただきます。</p> <p>≪ 2. 案件 ≫</p> <p>○ 案件（1）第2期弘前市子ども・子育て支援事業計画(案)について</p> <p>【議長】 案件（1）について、事務局からご説明願います。</p> <p>【事務局】 国の基本指針の改正内容及び委員の皆様からの意見を反映させ計画案を修正したので、修正部分について審議をお願いします。 (事務局から資料1により説明)</p> <p>【議長】 ご意見やご質問等ございますか。 (発言無し)</p> <p>○ 案件（2）前回会議の報告事項について</p> <p>【議長】 案件（2）について、事務局からご説明願います。</p>
---	--

【事務局】

前回会議で質問のあった「さんかくネット」と「放課後等デイサービス」の内容・現状等について報告します。

(事務局から追加資料1、資料2により説明)

【議長】

ご意見やご質問等ございますか。

【委員】

追加資料1 さんかくネットについて
さんかくネットの実態がはっきり分かり、良かった。

【委員】

追加資料1 さんかくネットについて
さんかくネットで一時預かりをした場合の利用料金はいくらか。

【事務局】

個人利用の場合、平日8時から6時までが30分300円、それ以外の時間が30分350円、土日祝日は全日30分350円となっている。

企業等が依頼する集団保育の場合は、全日30分500円となっている。

【委員】

資料2 放課後等デイサービス充足状況について
利用したい日に施設の予約が取れず、利用ができないということはないのか。

【事務局】

そういった事態は起きているが、他の事業所を利用したり、日中一時支援事業といった別の事業を組み合わせたりして利用を補っている。

【委員】

障がい児の居場所については、大筋充足していると把握しているということよろしいか。

【事務局】

市としては概ね不足はないものと考えている。

しかし、日曜日に開所している施設がほぼなく、利用者から日曜に利用したいという要望もあるため、事業者へ働きかけている状況である。

【議長】

その他、資料や会議に関連することでご意見ご感想ございませんか。

【委員】

資料1 第2期弘前市子ども・子育て支援事業計画（案）について

当計画は、どの層に読んでもらうことを想定しているのか。

【事務局】

教育・保育事業関係者及び保護者に見ていただきたいと考えております。冊子を每户配布するのは難しいため、市HPに掲載して広く見ていただくことを想定している。

【委員】

子ども・子育て支援新制度に関する用語が難しいため、保護者等への周知の際にはわかりやすい形でご対応いただきたい。

【委員】

資料2 放課後等デイサービス充足状況について

定員と契約数を見ると不足しているように見えるが、本当に充足しているのか。また、新たに事業所の開設を申請することについてお聞かせいただきたい。

追加資料1 さんかくネットについて

個人利用が減少している理由は何か。

【事務局】

放課後等デイサービスについて、資料2を見ると、契約数が定員を超過しているが、定員は1日当たりの定員であり、契約者全員が毎日利用する訳ではないため、市全体として不足はないものと認識している。

事業所の開設については、県障害福祉課で所管しており、「子ども・子育て支援事業計画」と同様に利用の目標値（量の見込

み)を設定している。直近の利用量と比較して提供体制が不足している場合、事業が認可されるということになっているため、事前に市町村との協議が必要となっている。

【事務局】

さんかくネットの個人利用の減少については、各教育・保育施設での一時預かり事業等の充実や児童館等の時間延長といったサポートが充実してきたことによるものと考えられる。

【委員】

子ども・子育て関係の用語に具体的な注釈等を入れてほしい。

【事務局】

用語については全国的に統一した表現を使用せざるを得ないが、分かりやすい表現については検討していきたい。

【委員】

資料1、21ページ目、⑦ファミリー・サポート・センター事業について。

「今後、必要に応じて実施する」としているが、ニーズはゼロではないので、利用者支援事業等を通してファミリー・サポート・センター事業と同様のサービスを提供している施設を紹介するなど、ニーズを満たすような手法を検討してほしい。

【委員】

就学後児童の日曜・祝日の居場所に特化したサービスがあればよいと考える。

【委員】

資料1、26ページ目、7(3)障がい児施策の充実について。

「発達障がいを含む障がいのある子どもたちの受入れを推進する」とあるが、集団生活の中で障がい児を受け入れるには、専門性が必要かつ人手不足等といった課題がある。具体的にはどのように推進していくのか。

【事務局】

障がい児の受入れの推進とは、障がいのある子もそうでない

子ども同様に教育・保育を受けるという基本的な考え方があり、このことに対応していくためによりよい方策を検討しながら進めていくものである。

ただし、職員等の人手不足や専門性が求められる児童への対応など、現場では様々な課題があることから、各種事業等を活用し質の向上を図るなど、最善の方策を検討しながら進めていきたいと考えている。

【委員】

資料1、26ページ目、7(3)障がい児施策の充実について。

障がい児の受入れの推進について、市で研修機会の充実のための支援制度を作してほしい。

資料1、25ページ目、4(3)幼稚園教諭・保育士・保育教諭等に対する研修の充実等による資質向上及び処遇改善への支援について。

大学等とタイアップするなどし、研修の充実を図ってはどうか。

資料1、6ページ目、保育所及び認定こども園の園児数推移について。

他の表は縦軸が年度になっているが、この表だけ年度が横軸になっている。統一した方が見やすいと考える。

【委員】

資料1、20ページ目、①利用者支援事業について。

「量の見込み」、「確保方策」とともに1(か所)となっているが、今後、相談者数等の指標となる数字を計上する必要があるように感じる。また、相談件数やその内訳等についても当会議の中で情報提供していただきたい。

《 3. その他 》

【事務局】

資料1 第2期弘前市子ども・子育て支援事業計画(案)について

今回の会議でいただいた意見を元に計画案を修正し、12月からパブリックコメントを実施する予定としている。計画案の

	<p>修正についてはパブリックコメントまでに委員の皆様へ送付したい。</p> <p>また、次回会議では計画案の最終審議を行うこととなる。</p> <p>【議長】 そのほかよろしいでしょうか。</p> <p>(発言無し)</p> <p>【議長】 それでは、私の役割を終わらせていただきます。 大変いろいろとご意見、ご発言いただき感謝申し上げます。では、事務局にお返しいたします。</p> <p>《 4. 閉会 》</p> <p>【司会】 以上を持ちまして、「令和元年度第2回弘前市子ども・子育て会議」を閉会いたします。</p>
その他必要事項	会議は公開